

HPV（子宮頸がん予防）ワクチンについて

定期接種の対象

●小学6年生～高校1年生(相当)の女子

※接種が無料で受けられるのは、高校1年生(相当)の年度末まで。希望する場合は、早めの接種をご検討ください。

- (補足)
- ・標準的な接種期間は、『中学校1年生の女子』となっています。
 - ・大間町では、小学6年生～高校1年生の女子に対し、個別通知により案内を送付しています。
 - ・ワクチンは計2～3回で、接種を完了するまでに最低6か月かかります。
 - ・経過措置対象者への接種(キャッチアップ接種)は、令和8年3月31日で終了しました。

接種方法について

- ・接種希望の方は、健康づくり推進課 ☎ 0175-31-0350 にお申込みください。
- ・町で指定する接種日(年3回・大間病院にて)または、個別接種の、どちらかを選んで接種します。
★今年度の日程 **①令和8年6月17日(水)** **②令和8年9月16日(水)** **③令和9年1月6日(水)**
- ・申込後に予診票を送付いたします。この予診票を使用することにより公費(無料)での接種が可能です。

ワクチンの種類等

項目	シルガード9 (9価)
予防できるHPVの型	● 16型, 18型, 31型, 33型, 45型, 52型, 58型 (主に子宮頸がんの原因) ● 6型, 11型 (主に尖圭コンジローマの原因)
接種方法	0.5mlを筋肉内に注射
標準的な接種期間	①15歳未満で接種を開始した場合・・・ 2回接種 1回目の接種から6か月間隔をあけて2回目を接種 ②15歳以上で接種を開始した場合・・・ 3回接種 1回目の接種から2か月間隔をあけて2回目を接種、1回目の接種から6か月間隔をあけて3回目を接種
標準的な接種期間で接種できない場合	①15歳未満で接種を開始した場合・・・ 2回接種 1回目の接種から少なくとも5か月以上間隔をあけて2回目を接種 ②15歳以上で接種を開始した場合・・・ 3回接種 1回目の接種から1か月以上間隔をあけて2回目を接種、2回目の接種から3か月以上間隔をあけて3回目を接種
関連性のある考えられた副反応(ワクチン添付文書より)	頻度10%以上 頭痛, 注射部位の疼痛・腫脹・紅斑 頻度1～10%未満 浮腫性めまい, 悪心, 下痢, 注射部位の掻痒感・内出血・腫瘍, 発熱, 疲労 頻度0.1～1%未満 上咽頭炎, インフルエンザ, 口腔咽頭痛, 嘔吐, 上腹部痛, 腹痛, 筋肉痛, 関節痛, 注射部位の出血・血腫・熱感・硬結・知覚低下, 倦怠感 頻度不明 蜂巣炎, リンパ節症, 感覚鈍麻, 失神, 四肢痛, 無力症, 悪寒, 注射部位の知覚消失・結節 注意 重い副反応として, 過敏性反応(アナフィラキシー, 気管支痙攣, 蕁麻疹), ギラン・バレー症候群, 血小板減少性紫斑病, 急性散在性脳脊髄炎

健康被害救済制度について

定期予防接種は、予防接種法に基づく健康被害救済制度を受けることができます。

接種に関する情報

厚生労働省ホームページ <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou28/index.html>

青森県庁ホームページ <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/hpv.html>